

〈教育ノート〉

## 保育学科におけるピアノ学習プログラムについて

——入学前ピアノ教育との接続を視野に入れて——

渡 邊 由美子\*, 福 間 久 美\*\*

About piano learning programs at the department of Early Childhood Care and Education

——Including the connection between before and after enrollment——

Yumiko Watanabe and Hisami Fukuma

### I、はじめに

今年度（H30年度）より施行する保育所保育指針・幼稚園教育要領・幼保連携型認定こども園教育・保育要領に示された「幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿」は今回の改訂の重要なポイントであり、項目10「豊かな感性と表現」では「・・・表現する喜びを味わい、意欲をもつようになる。」と結ばれている。関西女子短期大学保育学科では、ピアノ演奏技能を子どもたちの表現活動を多様に展開するため必要なものと位置づけ、「ピアノⅠ」「ピアノⅡ」「ピアノⅢ」「ピアノ演奏研究」と2年間学び続けることのできる科目設定にしている。

子どもたちが生活の中で自由に表現し、保育者や仲間がそれを受けとめる保育のあり方を考えたとき、今の保育現場において最も身近な楽器であるピアノの音や響きが、その表現をより豊かなものにすることに違いない。

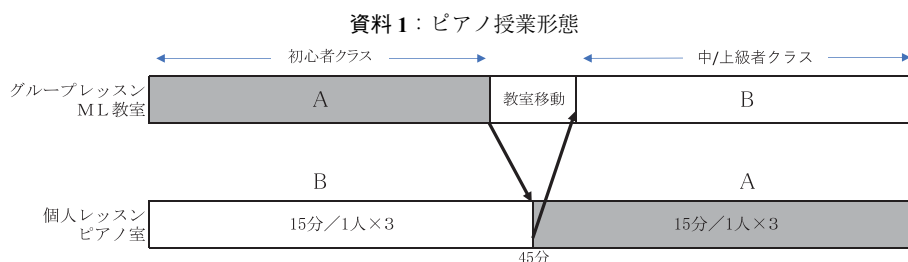
しかし、ピアノやそれ以外の楽器にほとんど触れたことのない学生が2年間の学習で子どもたちに適正な音楽環境を準備するための技能を身に付けることができるのだろうか。保育者を志す者の多くは我々教員同様このこ

とに不安を感じている。この不安を少しでも解消するために本保育学科では2011年度入学生から入学前ピアノ教育を実施している。本稿では、保育学科における入学前ピアノ教育と入学後のピアノ学習プログラム接続に着目し、その実状や今後の課題について検討した。

### II、保育学科におけるピアノ授業の概要

40名程度を1クラスにし初級者グループと中／上級者グループに分けている。学生は個人レッスンを15分（ピアノ室：個室30室）、グループレッスンを40分（ML=Music Laboratory 教室：デジタルピアノ46台設置）受講し、グループレッスンは90分の前半がピアノ演奏レヴェル初級者、90分の後半は中／上級者が受講する。すなわち、初級者Aは前半40分間ML教室でグループレッスンを受講し、後半45分のうち15分間個人レッスンを受講する。中／上級者Bは前半45分のうち15分間個人レッスンを受講し、後半40分はML教室でグループレッスンを受講する。いずれも移動時間は5分である。（資料1）

「ピアノⅠ（必修）」「ピアノⅡ（必修）」「ピアノⅢ（選択）」「ピアノ演奏研究（選択）」を置き、殆どの学生



受付日 2018. 5. 25 / 掲載決定日 2018. 10. 24

\*関西女子短期大学 教授

\*\*関西女子短期大学 講師

資料 2 : 副課題一覧表

2017年度生 ピアノ副課題一覧表

記入方法: レッスン合格→○ テスト曲→日付

学生番号	ふりがな 氏名
------	------------

学年	学期	曲名	テキスト	プリント	1年		2年		テスト
					合格	未合格	合格	未合格	
1年	春	1 ちようちょう		1					
		2 チューリップ	西	77	入帳簿	2			
		3 こいのぼり		99	3				
		4 ぶんぶんぶん			4				
		5 かっこう			5				
		6 かたつむり	准		6				
		7 たなはたさま		118	7				
		8 おはよう			8				
		9 おかえりのうた	生活	61	9				
		10 おはなし			10				
1年	秋	11 まつぼっくり	歌	168	11				
		12 おかたづけ	生活		12				
		13 おおきなくりのきのしたで	歌	62	13				
		14 こぎつね			14				
		15 朝のあいさつ			15				
		16 おべんどう	生活		16				
		17 さよならのうた			17				
		18 まめまき	冬	170	18				
		19 たきび			19				
		20 うれしむひなまつり	春	58	20				
2年	春	21 ハッピーバースデー	生活						
		22 めだかのがっこう	春						
		23 水あそび							
		24 あめふりくまのこ	夏	42					
		25 手のひらを太陽に							
		26 とんぼのめがね							
		27 とんぼりころころ							
		28 きのこ	秋	139					
		29 もみじ							
		30 まっかな秋							

学年	学期	子どもの歌		合格曲数		計
		必修曲	自由曲	必修曲	自由曲	
1年	春学期					
	秋学期					
2年	春学期					
	秋学期					

担当	1年春	先生	先生
教員	1年秋	先生	先生

学年	学期	曲名	テキスト	1年		2年		テスト
				合格	未合格	合格	未合格	
入	入	31 あくしゅでこんには		38				
		32 せんせいとおともだち		114				
		33 ともだちになるために		132				
		34 友だちはいいもんだ		184				
		35 あめふり		40				
		36 うみ		56				
		37 大きな古時計		64				
		38 おぼけなんてないさ		78				
		39 かえるの合唱		86				
		40 しゅほんだま		106				
夏	夏	41 とけいのうた		126				
		42 トマト		131				
		43 にじ		144				
		44 にしのむこうに		146				
		45 南の島のハメハメ大王		172				
		46 うんどうかい		60				
		47 やさいもグーティーバー		178				
		48 あわてんぼうのサンタクロース		46				
		49 シングルベル		110				
		50 ゆき		184				
秋	秋	51 おしょうがつ		66				
		52 ありがたうきようなら		44				
		53 いちねんせいになったら		52				
		54 おもいでのアリソン		82				
		55 さよならぼくたちのはいくえん		14				
		56 トキドキドノ! 一年生		124				
		57 みんなともだち		174				
		58 おなかのへるうた		72				
		59 はなみがきましよう		155				
		60 まだあした		166				
冬	冬	61 アイアイ		36				
		62 アンパンマンマーチ		48				
		63 いぬのおまわりさん		54				
		64 おしりかじり虫		10				
		65 おすもうくまちゃん		68				
		66 おつかいありさん		70				
		67 おにのパンツ		74				
		68 おへそ		80				
		69 おちちのチャチャチャ		84				
		70 運の上のボニョ		4				

学年	学期	曲名	テキスト	1年		2年		テスト
				合格	未合格	合格	未合格	
春	春	71 キャンプだホイ		88				
		72 きらきら星		90				
		73 くじらのとけい		92				
		74 けんこつやまのたぬきさん		94				
		75 コンコクジャンのうた		98				
		76 こんべさんのあかちゃん		100				
		77 きんぼ		102				
		78 しあわせならてをたたこう		104				
		79 10人のインディアン		108				
		80 ずうじのうた		112				
夏	夏	81 世界中の子どもたちが		17				
		82 そうだったらいいのにな		116				
		83 たのしいね		120				
		84 手をたたきましよう		122				
		85 となりのトトロ		128				
		86 ドレミのまほう		136				
		87 とんでったバナナ		140				
		88 どんないろがすき		142				
		89 にんげんっていいな		20				
		90 はじまるよはじまるよ		148				
秋	秋	91 はたらくくるま!		149				
		92 ハッピーチルドレン		152				
		93 ピリッ		22				
		94 ふしぎなポケット		156				
		95 ホカホカおひさまありがとう		158				
		96 ほくのミックスジュース		160				
		97 ほっかほっかのほ		162				
		98 ホ!ホ!ホ		164				
		99 ほよよん行進曲		28				
		100 虫歯建設株式会社		25				
冬	冬	101 むすんでひらいて		176				
		102 やまのおんがくか		182				
		103 勇氣100%		32				
		104 勇氣りんりん		179				
		105 夢をかなえてドラえもん		7				
		106 ロンドン橋		186				
		107						
		108						
		109						
		110						

資料 3 : レッスン・シート

ピアノ I レッスン・シート (2017/4~2017/7)

レッスンを受けて合格: ○  
レッスンを受けて不合格: ○

遅りの理由  
5: 評価がよく確認した  
4: よく確認した  
3: ほぼ確認した  
2: 確認が足りなかった  
1: まったく確認がなかった

学生番号	氏名	個人レッスン担当教員
------	----	------------

「レッスンを受ける曲目」、初回の「今日のレッスンを振り返って」は、授業の前に記入すること。  
毎回のレッスンに必ず手記してください。記入の内容は評価の対象となります。

学年	学期	レッスンを受ける曲目	評価	レッスンを振り返って				評価	評価理由
				4月	5月	6月	7月		
1	春	4/12							
		4/15							
2	春	4/19							
		4/26	第1回 テスト	テスト合格	テスト合格				
5	春	5/10							
		5/17							
7	春	5/24							
		5/31							

学年	学期	レッスンを受ける曲目	評価	レッスンを振り返って				評価	評価理由
				4月	5月	6月	7月		
9	春	6/7							
		6/14							
11	春	6/21							
		6/28							
13	春	7/5							
		7/12							
15	春	7/19							
		7/26	第2回 テスト	テスト合格	テスト合格				

が2年間ピアノ授業を受講している。教材は教則本（バイエル、ブルグミュラー、ソナチネ、ソナタ）と子どもの歌の弾き歌いである。子どもの歌は副課題一覧表（資料2）からそれぞれの力量に見合った曲を指定された曲数課題とする。「ピアノ演奏研究」（2年秋学期）では個人レッスン担当教員のアドバイスを頼りどころにし、学生が各自の能力に応じた課題を選曲する。W. ギロックや平吉毅州らの小品からF. ショパンやL. ベートーヴェンの作品まで、授業最後の発表会に向けて暗譜で演奏できるよう取り組む。

グループレッスンは専任教員、個人レッスンは非常勤教員が担当するので、毎回の授業において指導内容等を共有するため授業開始前に20分程度打ち合わせをする。学期終了時にもピアノ個人レッスン担当教員と専任教員による90分程度の連絡会議を実施している。個人レッスン担当教員は学生ごとのレッスン・ノートを用い、随時書き込みながら活用する。学生はレッスン・シート（資料3）を用いてレッスン内容や毎回の成果を確認し、計画的に練習に取り組めるよう工夫している。

### Ⅲ、保育学科におけるピアノ入学前教育の実状

2012年度入学生からピアノ入学前教育を実施した。入学試験合格者は申込はがきに、ピアノ学習経験の有無、学習経験年数を記した上で、受講希望日（2012～2016年は12～3月で4～5回実施していたが、2017年度と2018年度入学生においては2～3月で5回実施している。いずれも2時間である。）に✓をして返送。希望者が全員受講できるよう、個人レッスン担当の教員を受講者5～6人に1名配置した。

全くピアノなどの鍵盤楽器に触れたことのない受講者はML教室でピアノを弾く際の姿勢、手指の形から始まり、指番号、楽譜と鍵盤の中央下の位置、といった入門編をマスターした後、「ちょうちょう」「ぶんぶんぶ

ん」など右手ポジションが変わらないハ長調の平易な子どもの歌を教材にした。

### Ⅳ、入学前ピアノ教育と入学後ピアノ学習プログラムの接続とその変遷

2016～2018年度入学生の入学時までのピアノ学習経験年数を以下に示す。（資料4：短大入学までのピアノ学習経験）入学まで全くピアノなどの鍵盤楽器に触れたことのない学生は25.08%（3年間の平均値）、また高校2～3年の音楽の授業でピアノを学んだ学生は35.33%である。これらの学生を初心者と位置づけると、初心者は60.41%となる。入学前ピアノ教育では特に初心者を対象に教材を準備した。

次に入学前ピアノ教育の内容と入学後学習プログラムの接続について述べる。

#### 1、「ぶんぶんぶん」

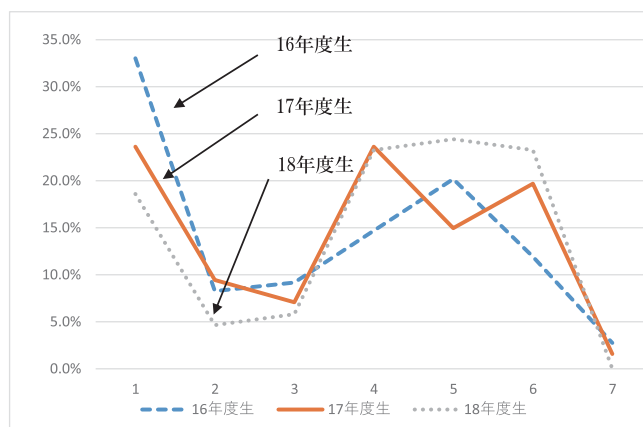
毎年、入学前ピアノ教育の教材を吟味改訂しているが、何より受講者のピアノ（音楽）苦手意識を軽減し、毎回のレッスンで1曲でも2曲でも「弾けた」と小さな達成感を味わえるよう工夫した。

2017年度（入学生）は「ぶんぶんぶん」を右手メロディーと左手1音での伴奏で、いきなり歌いながら弾いてみたが、知っている曲であることと右手のポジションが変わらないことで、特にストレスなく弾き歌いを完成させた。

入学後のピアノ授業では意図的にハ長調の「ぶんぶんぶん」を課題とした。これはハ長調・ハ長調の調性を理解し、違う音域で歌う「ぶんぶんぶん」を体感することで、音楽基礎力の習得を期待したもので、入学前ピアノ教育から入学後へ接続した一例である。（譜例1は最も簡易な伴奏として著者が準備したもの。譜例2は「幼児のための音楽教育」45頁から引用したもの。）

資料4：短大入学までのピアノ学習経験（アンケート）

	16年度生		17年度生		18年度生		3年間の平均	
	人数		人数		人数		人数	
全く未経験	36	33.0%	30	23.6%	16	18.6%	27.33	25.08%
3ヶ月以上 6ヶ月未満	9	8.3%	12	9.4%	4	4.7%	8.33	7.45%
6ヶ月以上 12か月未満	10	9.2%	9	7.1%	5	5.8%	8.00	7.36%
1年以上 3年未満	16	14.7%	30	23.6%	20	23.3%	22.00	20.52%
3年以上 6年未満	22	20.2%	19	15.0%	21	24.4%	20.67	19.85%
6年以上	13	11.9%	25	19.7%	20	23.3%	19.33	18.29%
回答なし	3	2.8%	2	1.6%	0	0.0%	1.67	1.44%
計	109	100.0%	127	100.0%	86	100.0%		



譜例 1  
ぶんぶんぶん

村野四郎 作詞  
ボヘミア民謡

譜例 2  
ぶんぶんぶん

村野四郎 作詞  
ボヘミア民謡

譜例 3

譜例 4

2. 手指の訓練

実際にピアノを弾くということは、楽譜に書かれた音符の高さや長さを読み取り、5本の指それぞれが思い通りに動き、しっかり鍵盤を捉え音を奏でていくことである。はじめて鍵盤楽器に触れる者は、今まで使ったことのない筋肉を駆使してこれらを同時に行わなければならない。

この機能を育むために、入学前ピアノ教育においては手指の運動として取り組んだ。ピアノを弾けるようになるのだろうかと不安な気持ちで参加している受講者も、両手でどんどん弾き進んでいく体験に、次第に表情が緩み期待が膨らんでいこうに見えた。入学後のピアノ学

習をスムーズに進めるため、この練習を毎日取り入れるよう伝えた。(譜例3は標準バイエルピアノ教本巻末付録より引用したもの。譜例4は同巻末付録を参考に、著者が指くぐり・指またぎのない練習曲にアレンジしたものの。)

入学後は、スケール(ハ長調・ト長調・ニ長調・ヘ長調・変ロ長調)を練習に用いている。指の独立と指くぐり・指またぎを習得できるよう、グループレッスンで継続することにより、ほとんどの学生がある程度の速さで弾けるようになっている。

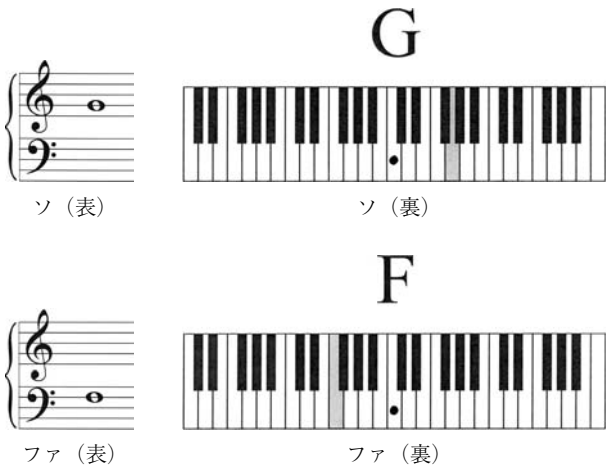
3. 読譜の壁

ピアノを弾こうとして最初につぶかる壁は読譜である。小学校の音楽授業で使用されている教科書には5線上の音符にド、レ、ミ…とカタカナで記され、読譜という経験がない者も少なくない。世界共通の言語であるはずの音符を読むことができないままピアノに向かう。楽譜にある音符を1音ずつ眺め、何の音でどれだけの長さで弾けば良いのかを考えながらとなると、1曲を弾き終えるまでに練習する気力も失せることだろう。

これらを改善する具体的な方策として、2017年度入学生の補習クラスで『読譜カード』（資料5）を導入した。各自読譜カードを活用して繰り返し根気よく読譜することを義務付けた。ふたり1組になって互いにカードを見せ合いながらゲーム感覚で学んでいる。

カードを見る⇒音を認識する⇒鍵盤を弾く⇒自分が弾

資料5：読譜カード



いた音を聴いて確認する。音符を認識し瞬時に指が動くことと効率の良い練習につながり、読譜カードによる一定の成果を得ることができる。

4、バイエル教則本

2012年度からバイエル教則本（3、4、5、6、7、9、12、13、14、20、25、31、45、46、48、50、55、58）の左手を著者がへ音記号表記に変えた教材で学んでいる。（バイエル教則本は60番まで左手もト音記号で表記）しかし、2011年度以前の入学生においては、（ピアノ経験のない学生に）一般に出版されているバイエル教則本を教材としていたため、左手がト音記号からへ音記号に移行する61番あたりで戸惑う学生もいたと記憶する。初心者にとってト音記号とへ音記号を一度に理解し鍵盤に移すことは難しいことに違いない。しかし、右手はト音記号、左手はへ音記号と頭と体に教え込むことで入学後のピアノ学習にもスムーズに移行することができた。

5、入学後全員バイエルスタート効果の検証

保育学科では教則本と子どもの歌を教材の2本柱にし

資料6：グレード表

関西女子短期大学 保育学科（2017年度生）

ピアノⅠ⇒Ⅱ⇒Ⅲ⇒演奏研究

グレード表

グレード	教則本 課題曲								子どもの歌 単位認定 合格曲数 (必修曲を含む)	
	12	13	14	18	20	31	45	46		
グレード1	バイエル (12曲必修)								10曲以上	
グレード2	バイエル (8曲必修)		59	ハ調 長音階 1段目	65	66	61	74		75
グレード2終了は「ピアノⅠ」の単位認定（基本）要件です										
グレード3	バイエル (7曲必修)		78	84	88	91	92	94	103	
グレード4	バイエル (5曲必修)		96	101	80	81	104			
グレード4終了は「ピアノⅡ」の単位認定（基本）要件です										
※ G4からスタートする場合、単位認定は G4 + G5から 2曲以上										
※ ピアノⅢの単位認定は いずれのグレードも2曲以上										
グレード5	ブルグミュラー	1、2、3、4、5、6、7、8、9、10							4曲以上	14曲以上
グレード6	ブルグミュラー	11、12、13、14、15、16、17、18							4曲以上	14曲以上
グレード7	ブルグミュラー	19、20、21、22、23、24、25							4曲以上	14曲以上
グレード8	ソナチネ	Ⅱ-10-1、Ⅱ-10-2、Ⅰ-7-1、Ⅰ-7-3、 Ⅰ-9-3、Ⅰ-8-1、Ⅰ-4-1、Ⅰ-4-2							3曲以上 (1曲=1楽章)	16曲以上
グレード9	ソナチネ	ソナチネアルバムⅠ・Ⅱより選曲 (ただし グレード8の課題曲は除く)							3曲以上 (1曲=1楽章)	16曲以上
グレード10	ソナタ	ソナタアルバムⅠ・Ⅱ・自由曲より選曲 (個人レッスン指導教員と相談の上選曲する)							2曲以上 (1曲=1楽章)	20曲以上

※ 「ピアノⅠ」「ピアノⅡ」（卒業必修：免許・資格取得必修科目）  
「ピアノⅢ」「ピアノ演奏研究」（選択科目）

※ 実習参加要件：2年生春学期にピアノ科目を必ず履修すること

ピアノテスト課題について

「ピアノⅠ」 ★第1回テスト（教則本、子どもの歌）  
★第2回テスト（教則本、マーチ、子どもの歌）  
「ピアノⅡ」 ★第1回テスト（教則本、マーチ、子どもの歌）  
★第2回テスト（教則本、マーチ、子どもの歌）

グレード	教則本	子どもの歌	マーチ
	暗譜		暗譜
グレード1	1曲	1曲	
グレード2	1曲	1曲	1曲
グレード3	1曲	1曲	1曲
グレード4	1曲	1曲	1曲
グレード5	1曲	2曲	1曲
グレード6	1曲	2曲	1曲
グレード7	1曲	2曲	1曲
グレード8	1曲	3曲	1曲
グレード9	1曲	3曲	1曲
グレード10	1曲	3曲	1曲

「ピアノⅢ」 ★第1回テスト（教則本、子どもの歌）  
★第2回テスト（教則本、子どもの歌）  
「ピアノ演奏研究」 ★第1回テスト（子どもの歌）  
★研究発表（自由課題）

グレード	教則本	子どもの歌
	暗譜	
グレード5	1曲	3曲
グレード6	1曲	3曲
グレード7	1曲	3曲
グレード8	1曲	4曲
グレード9	1曲	4曲
グレード10	1曲	5曲

てピアノ教育を実践しているが、ここでは教則本を中心に述べることにする。

2016 年度以前の入学生は入学前ピアノ教育時のデータ（ピアノ学習経験年数と読譜力、ピアノ演奏能力）をもとに、いわゆる初心者はバイエル 3 番から、その他は本学独自のグレード表（資料 3）を拠り所にして入学後の開始曲（課題曲）を決定した。したがって、入学前ピアノ教育で学んだバイエル曲を復習しながらそれぞれの能力に応じた課題を与えたことになる。2016 年度入学生においてバイエル 3 番からスタートした学生は 113 人中 87 名（77.0%）であった。ここで問題になったのは、5 歳からピアノを習いソナチネ程度は弾けると自負するが、読譜力は非常に未熟な学生の課題設定である。結局当該学生のプライドとモチベーションを重視し、ソナチネ程度を課題とした。この学生に限らず、ピアノ学習経験は長いが読譜力の他音楽的基礎力が身につけていないという学生は少なくない。youtube などの音源を利用したり、指導者の手元を参考にしたり、読譜は難解で面倒な手続きだと思い込んでいる。本学でのピアノ個人レッスンは 15 分と保育者養成校としては平均的なレッスン時間である。しかし 15 分程度のレッスンで、楽譜を読もうとしないあるいは読めない学生にソナチネレベルの楽曲をある程度演奏できるまで指導することは非常に困難なことである。

我々はこの状況を改善し、楽譜を読み解き演奏することを第一義に考え、2017 年度入学生からは全員バイエル（3 番）スタートと決定した。全員と決めたことで、バイエルスタートでも各自のプライドやモチベーションに特段障ることはないと考えた。ピアノ学習経験年数が長く読譜力も身につけている学生は毎回快調に合格（マスター）し、経験年数が長くても読譜力等に難がある学生は、苦勞しながら読譜という課題に向き合うことができた。2016 年度入学生と 2017 年度入学生の学習成果確認のため、1 年秋学期の「ピアノⅡ」を単位修得できなかった学生の割合を示すと、2016 年度生は 21.62%（当時の在籍人数 111 人中 24 人）、2017 年度生は 1.56%（当時の在籍人数 128 人中 2 名）と、全員がバイエル（3 番）からスタートする学習方法は大きな成果に結びついた。

## V、まとめ

読譜力が定着しない状況を改善するため、入学前ピアノ教育の機会に受講者全員に「読譜カード」の導入を考えている。音符を見たら瞬時に指が反応するところまでを入学前から入学後に引き続く課題とする。読譜の壁を乗り越えた先に適切なテキストが待っていれば、これこそが最も効率の良いピアノ教育であろう。学生の資質や学習傾向を充分理解した上で、保育士・幼稚園教諭養成課程にふさわしい本学独自のテキスト作成をもうひとつの課題としたい。

### 謝辞

本研究は、平成 28 年度関西女子短期大学奨励研究費の助成によるものであり、ここに記して感謝の意を表します。

### 参考文献

- 厚生労働省『保育所保育指針』2017 年  
 文部科学省『幼稚園教育要領』2017 年  
 内閣府・文部科学省・厚生労働省『幼保連携型こども園保育・教育要領』2017 年  
 神原雅之、鈴木恵津子監修『幼児のための音楽教育』教育芸術、2017 年、45 頁  
 カール・ツェルニー『若き娘への手紙』、全音楽譜出版社、1984 年、9-24 頁  
 ジョセフ・レヴィーン『ピアノ奏法の基礎』、全音楽譜出版社、1980 年、13-22 頁  
 近藤達夫『ピアノレッスンあれこれ』、立教書院、1976 年、16-71 頁  
 ハンス・カン『ピアノ演奏おぼえがき』、音楽之友社、1987 年

### 参考楽譜

- F・バイエル『バイエル教則本』全音楽譜出版社  
 J・ブルグミュラー『ブルグミュラー 25 の練習曲』全音楽譜出版社  
 畑中良輔他著『小学生の音楽 2』教育芸術社、2002 年  
 東 保編『やさしい伴奏によるこどものうた①』全音楽譜出版社、1981 年  
 東 保編『やさしい伴奏によるこどものうた②』全音楽譜出版社、1985 年  
 長谷川久美子編著『こどものうた伴奏大全集』自由現代社、2017 年  
 森 真奈美編著『こどもうた 130』ヤマハミュージックメディア、2015 年  
 小林美実編『こどものうた 200』チャイルド本社、2017 年  
 小林美実編『続こどものうた 200』チャイルド本社、2017 年